

過ごしやすい暖かさが続き、近隣の田んぼからカエルの鳴き声が聞こえています。梅雨期の連日の雨で気温が下がることを梅雨冷えと言います。これから冷えこむ日もあるかと思しますので、衣服調節をしたり、食事や睡眠を十分にとるなどして体調管理を行いましょう。

身体計測

- 5日（月）うさぎ組
- 6日（火）そう組
- 7日（水）りす組
- 8日（木）らいおん組
- 9日（金）わに組



視力・聴力検査（らいおん組）

5月末から開始しています。視力・聴力検査ともに終わり次第、結果をお返します。

もうすぐ夏の遊びがはじまります

●皮膚、目や耳等の症状はありませんか？

湿疹・とびび・水いぼなどの皮膚疾患（裏面参照）や、中耳炎・結膜炎などの病気がある場合は、水遊びによって症状が悪化したり、他の人へ感染したりすることがあります。気になる皮膚症状、目や耳の症状等がある場合は早めに受診していただき、水遊びができるかどうか確認をお願いします。

●身体に貼付するテープ類の扱いについて

経皮吸収型気管支拡張剤（ホクナリン等）のテープは気管支喘息や気管支炎の時に気管支を拡張させ、咳を沈めて呼吸を楽にする目的で使用します。日中にこのテープを貼付する必要がある場合は“体調が優れない”と判断し、プールの入水できません。

その他テープや絆創膏、虫よけパッチ等については水に濡れると剥がれやすく、子どもが誤って飲み込む危険があります。そのため、プールや水遊びの時は、



傷が乾いていることを確認して剥がさせていただきます。

●爪をこまめに切りましょう

爪が当たると怪我をすることがあります。また、夏はあせもや虫刺され等による痒みが生じ、掻き傷ができやすいため、爪を短くし予防しましょう。



最近の保健室

5月中旬より、咳・発熱による体調不良のお子さんが多数おられます。咳の後に発熱する、発熱を繰り返し長引きやすい傾向がみられており、軽快後も再び同様の症状により体調を崩すお子さんも多くおられます。現在、RSウイルスは全国的に例年より非常に多く報告されています（滋賀県感染症情報センターより）。園でもRSウイルス感染症の診断を受けたお子さんも複数おられます。症状等については裏面をご覧ください。

気になる症状がありましたら、重症化しないよう早めの受診と療養をしていただきますようお願いいたします。また、症状が軽快した後も、継続して体調を観察してください。

手洗いのお話（そう組）

5/16 そう組で給食前に手洗いのお話をしました。手には、目に見えない小さな砂ほこりやバイ菌がついていて、手洗いをしないで食事をすると、体にバイ菌が入りしんどくなることがあります。砂ほこりとバイ菌に見立てた紙を手につけて、“ごしごしこする”ことで取れていく様子を子どもたちに見てもらいました。「まだついでる」「とれた！」と声が聞こえてきました。その後は“あわあわ手洗いの歌”を歌いながら、色んな手のこすり方を練習しました。反対側の手を洗う時は難しそうにしながらも、興味を持って挑戦していた子どもたちです。後日、手洗いの様子を覗いてみると、慎重な手つきで“おおかみ”や“バイクをぶるるん”をして洗う姿がありました。担任の先生からも、子どもたちが練習している様子を聞いています。継続できるよう見守り、楽しく習慣付けていけたらと思います。



らいおん組・わに組は歯磨きが始まります

新型コロナウイルスが世間的に流行してから、園での歯磨きは中止していましたが、5類移行を受け6月中頃より段階的に再開することになりました。（感染症流行時は一時中止することがあります。）

★園で歯磨きを始める前に、歯磨き（らいおん組）・うがい（わに組）の保健指導を行います。感染対策の為、現時点では職員による仕上げ磨きはせず、口腔内チェックを行います。ご家庭では引き続き、仕上げ磨きを行っていただきますようお願いいたします。

（お願い） コップが汚れていたり乾ききっていないと、カビが生えることがあります。毎日きれいに洗い清潔なものを持ってきてください。また、歯ブラシの先が広がっていないか確認してください。



RSウイルス感染症

(感染経路) 飛沫感染、接触感染

(潜伏期間) 2～8日

(症状) 鼻水や咳、38～39度の高熱

「ゼイゼイ」「ヒューヒュー」という呼吸音



予防接種や特効薬はなく、症状を和らげる対症療法をして回復を待ちます。症状が悪化すると、呼吸困難や脱水を起こすことがあります。

★早めの受診と療養をしましょう。

★水分補給を行いましょう。

とびひ(伝染性膿痂疹)

虫刺されやあせも・湿疹などで痒みによる掻き壊して傷ついた肌、やアトピー性皮膚炎で皮膚のバリア機能が低下したところに細菌が感染して発症します。

(症状) 膿をもったような痒みのある水疱ができる。水疱が破れて出てきた浸出液や膿が肌につくことで、新たに感染する。



水疱や膿をもった、化膿した湿疹を見つけたら要注意です。ガーゼや絆創膏などで保護しましょう。ほかの場所へと広がっているときは受診しましょう。抗菌薬(軟膏や内服薬)で完全に治療をします。

※出席可能ですが、プールへの入水やタオルの共用は避けて過ごします。(学校保健安全法より)

プールが始まる前に、
医師に診てもらいましょう。



水いぼ(伝染性軟属腫)

ウイルスが小さな傷口や毛穴に接触することで皮膚の細胞に感染します。

(症状) 皮膚と同様の色の隆起(1～5mm程度のいぼ)が多数でき、痛みや痒みはない。脇の下、腹部等柔らかい部位にできやすい。
1～2年で自然に消える。



いぼが潰れ浸出液が肌につくと感染します。いぼが潰れなければプール等で感染することはありません。掻き壊しにより液がでている場合はガーゼや絆創膏で覆いましょう。

※出席可能、プールへの入水は皮膚状態により可能です。
タオルやプール用具の共用は避けます。
(学校保健安全法より)

新型コロナウイルスの出席停止期間(5類移行後)

「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで」出席停止となります。

発症0日目	1日目	2日目	3日目	4日目(症状軽快0日目)	5日目(症状軽快1日目)	登園可能
-------	-----	-----	-----	--------------	--------------	------

- ・主となる症状が現れた日を発症日(0日目)とします。
 - ・症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、咳や息苦しさ等が改善傾向にある状態のことをいいます。
- ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること。

♪あわあわ手洗いの歌

おねがい
おねがい

かめさん
かめさん

あのさんかくの
おやまのうえで

おおかみ
おととととと
おっこちそう

いそいでバイクを
ぶるるんうんてん

ききいっぱつ
つかまえた

